

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	269	傷痍軍人関係	会計	01	一般会計
基本施策	7	老後の生活や低所得者の自立を支える	款	03	民生費
担当部課名	厚生保護課		項	01	社会福祉費
作成者氏名	今高 光芳	連絡先	目	01	社会福祉総務費
			細目	105	傷痍軍人関係経費
			細々目	01	傷痍軍人関係経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を) 傷痍軍人会会員・妻の会会員	成果(どうなるのか) 会員の福利厚生等の増進を図る。
本年度事業内容	・傷痍軍人会の活動に補助金を支出して支援する。	
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
根拠法令・要綱等		

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員	正規職員 (人)	0.01	0.01	0.01
	人件費合計(A)	72	72	72
支出内訳(千円)	事業費(B)	100	90	80
	委託料			
	補助金	100	90	80
	その他			
合計(A+B)		172	162	152
財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
一般財源	172	162	152	
上記 ~ に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
会員数	人	33	33	33			
補助金額	金額	100	90	80			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
会員の親睦を図る	傷痍軍人の人数も年々減少しているので、会員数を指標とする。	人	33 (目標)	33	33
			(目標)		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

旧市町村単位で傷痍軍人会がある。伊賀市で一本化は出来なかった。今後も一本化を呼びかけていく。

会員数も少なく補助金の減額の検討が必要と思われる。

事務局は社協が実施している。

評価	必要性	4	傷痍軍人の人数は年々減少すると思われるが、補助金は傷痍軍人会が消滅するまで必要と思われる。	総合評価 <b>A</b>
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		